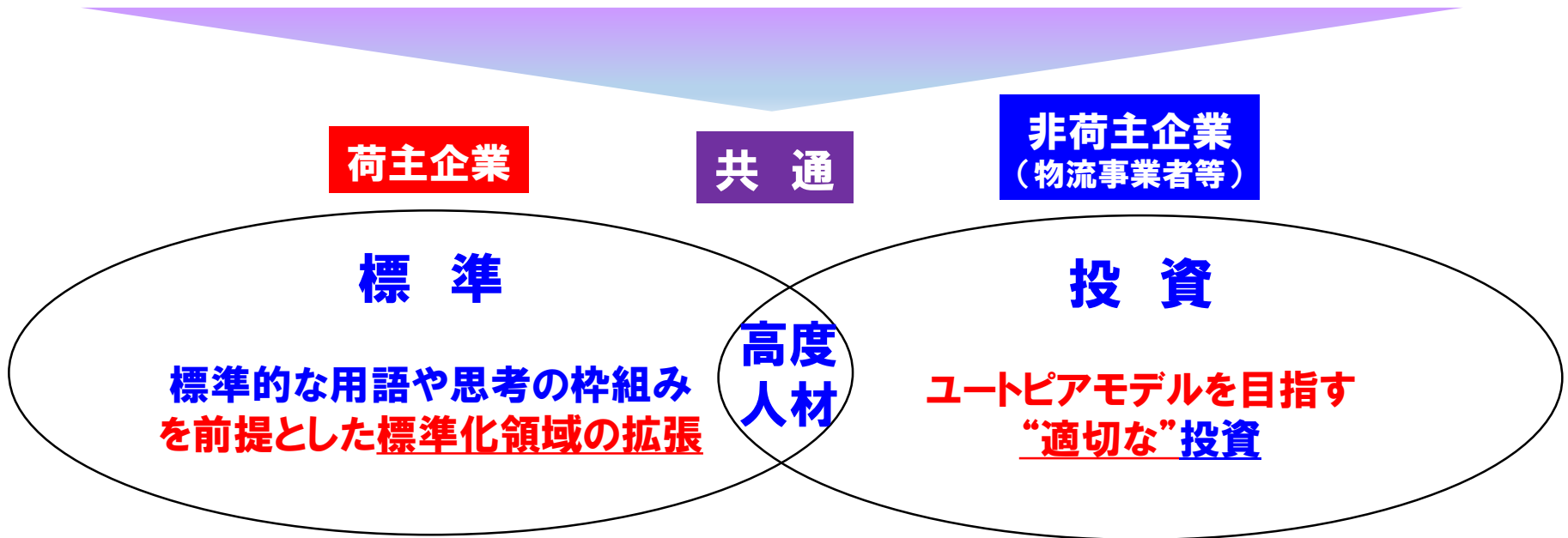


◆非連続なユートピア仮説を実現するための三つの要素

- ・ロジスティクス総合調査で行ったアンケート調査の回帰分析の結果から、（オープンなプラットフォームを基盤とする全体最適のシステムである）ユートピア仮説との関りが強い要素は、荷主企業では「標準」、物流事業者等の非荷主企業では「投資」、そして両者に共通する要素は「高度人材」であることがわかった。
- ・10年後の社会にオープンなプラットフォームを実装するためには、社内の他部門や他社との対話を円滑に進めるための標準的な用語や思考の枠組みやロジスティクスの専門能力を身に付けた高度人材が主導する、標準が尊重された全体最適のシステム開発に対する投資を、産業界をあげていまずぐにでも始める必要がある。

ユートピアモデル

**オープンなプラットフォームを基盤とする全体最適のシステム
（非連続/イノベーション/新しい産業）**



◆2030年のユートピアモデルのプラットフォーマーには「標準」と「公共性」を求めたい

- **企業独占型**でもなく**国家独占型**でもない、**プラットフォーマーがデータを独占しないモデル**
- **カスタマイズ**で儲けるビジネスモデルからの**決別**
- **徹底した標準化が必須**
 - ☞ **輸送容器**、データエレメント、**取引条件**（庭先条件）など
- データ共有型プラットフォーマーの候補者は多様。社会的課題解決に挑む志ある**スタートアップのITベンチャー**以外にも、**野心的な3PL**や在来型の製造業からの脱皮を図ろうとしている**輸送機器メーカー**、また、シェアリングエコノミーの進展を受けた**リース会社**や**保険会社**、さらにビジネスモデルを経済的に持続可能にするために欠かせない決済機能を担う銀行などの**金融機関**も候補者
- あらたな産業部門としてのデータ共有型プラットフォーマーは、従来の産業からではなく、ここで挙げたような**多様な産業を貫いたCross Industry**のかたちで現出するだろう
- **対極シナリオ：某国の大手EC企業日本の大手物流企業を買収！**

◆『ロジスティクスコンセプト2030』の七つの提言

提言1 ロジスティクスを再定義しよう

提言2 サプライチェーンを再構築しよう

提言3 標準化を猛烈に進めよう

提言4 適切な投資をしよう

提言5 データ共有型プラットフォームを育てよう

提言6 ユートピアへの準備をしよう

提言7 提言1から6を実行できる高度人材を育成しよう